

薬物依存症について

10335 村上 大岳

違法薬物とは



違法薬物とは、法律によって所持・使用・売買が禁止されている薬物のことです。

健康や社会生活に深刻な悪影響を及ぼすため、厳しく規制されています。

使用すると**身体的・精神的な依存**を引き起こし、犯罪や事故の原因となることもあります。

違法薬物の代表例

- 覚醒剤
- 大麻
- コカイン
- MDMA（エクスタシー）
- ヘロイン

これらの薬物は、短期間で強い快感や興奮をもたらしますが、
長期的には健康を損ない、依存症や精神障害を引き起こす危険性があります。

違法薬物を使用するとどうなるのか

- 脳や身体に深刻なダメージ
- 依存症に陥りやすい
- 幻覚や妄想、うつ症状などの精神障害
- 仕事や学業、人間関係が崩れる
- 犯罪や事故のリスクが高まる

違法薬物を使用してしまうきっかけ

- 友人や知人からの誘い
- ストレスや悩みからの逃避
- 好奇心
- インターネットやSNSでの情報拡散

薬物の危険性を正しく理解し、安易に手を出さないことが重要です。

違法薬物の入手経路

SNSやアプリを通じて違法薬物が売買されることがあります。
警察もSNSやアプリ上で監視を強化しています。



- SNS（Instagram、Xなど）の投稿
- 匿名性の高いメッセージアプリ（Telegram、Signal、Simplexなど）

違法薬物依存症の症状

- 薬物をやめたいと思ってもやめられない
- 薬物がないと不安やイライラを感じる
- 日常生活や人間関係に支障が出る
- 嘘をついたり、隠れて薬物を使うようになる

依存症は「意思の弱さ」ではなく、**脳の病気**です。
専門的な治療や支援が必要となります。

依存症から回復するためには

- 家族や友人、専門機関に相談する
- 医療機関で治療を受ける
- 自助グループ（ダルクなど）に参加する
- 薬物の誘惑から距離を置く

一人で悩まず、周囲のサポートを受けることが大切です。

相談・支援窓口

- 保健所や精神保健福祉センター
- ダルク（薬物依存症回復支援団体）
- 薬物乱用防止相談窓口（厚生労働省）

困ったときは、早めに相談をする！。警察には通報されない
薬物依存症は、必ず回復できる！。

まとめ

違法薬物は健康や人生を大きく損なう危険があります。

正しい知識を持ち、薬物に頼らない生活を心がることがたいせつ。

自分や周囲の人が困っていたら、すぐに相談・支援を受けるべき。

